

向陽台小だより

2 月 号

令和3年1月29日

富田林市立向陽台小学校

はる
春はそこまで来ています

こうちよう こむら かつとし
校 長 古村 勝俊

校庭では、美しい黄緑色の鳥たちの姿が見られるようになりました。チーチーと鳴き交わしながら木々を行き来しています。その名のとおり目の周りが白く、春を告げる鳥として親しまれているメジロです。

早いもので、2月3日は暦の上で春を迎える「立春」です。その前の日の2月2日が冬と春の季節を分ける「節分」です。節分には、巻き寿司を恵方巻きとして食べることも広まってきましたが、豆まきをされるご家庭も多いのではないのでしょうか。

先週から1年生が熱心に作っていた、かわいらしい赤鬼や青鬼、黒鬼の作品が、教室に飾られています。

もう50年も昔のことですが、鬼の面をかぶった父を追いかけて、「鬼は外、福は内！」と、はしゃぎながら豆をまいたことを思い出します。豆まきのあと、家じゅうに散らばった豆をほうきで掃き集めるのがたいへんだったことも、楽しかった思い出です。

ところで、子どもたちが心に抱えているのは、どんな鬼なのでしょう。「廊下を走る鬼」、「忘れ物鬼」や「おしゃべり鬼」、そして「けんかをしてしまう鬼」など、自分の中の弱い気持ちはどんどん追いはらい、前向きに頑張りたいと思います。

学校では、天気の良い日には、元気に外遊びを楽しむ子どもたちで運動場は大にぎわいです。遊具スペースでは、なわとびの練習に夢中になっている子どもたちがいます。いろんな技ができるようになるのが、たまらなくうれしいようです。努力してできるようになることで自信も生まれ、子どもたちはどんどんたくましくなっていきます。

1月が終わり、あと2ヶ月で進級・進学です。寒さに負けず、子どもたちが元気に遊び運動し学んでいるうちに、春は少しずつ近づいてきます。健康に気をつけて学年のまとめである3学期を乗り切りたいと思います。子どもたちが、有意義な学校生活を送れるよう、ご家庭や地域でも、励ましのお声かけをよろしくお願いいたします。